

第3回山梨県食の安全・安心審議会議事録

令和3年1月14日掲載

○日時 令和2年12月18日（金）午前10時15分～11時15分

○場所 山梨県防災新館409会議室

○出席者 （敬称略）

（委員）：遠藤委員、大島委員、小野委員、剣持委員

田草川委員、仲澤委員、長谷川委員、藤井委員、向山委員、
渡辺委員（以上10名）（50音順）

（事務局）：県民生活部 小林次長

県民安全協働課 望月課長、伊藤総括課長補佐、佐野主査
渡辺副主査、大沼職員、三浦職員

○傍聴者等の数 0名

○会議次第

- 1 開会
- 2 県民生活部次長あいさつ
- 3 議事
 - (1) 「第4次やまなし食育推進計画」（素案）について
 - ・第2回審議会委員意見への回答
 - ・「第4次やまなし食育推進計画」の概要（案）
 - ・「第4次やまなし食育推進計画」（素案）
 - (2) その他
 - ・今後のスケジュールについて
- 4 その他
- 5 閉会

○概要

- 1 開会
- 2 県民生活部次長あいさつ
- 3 議事

(1) 「第4次やまなし食育推進計画」（素案）について

○事務局から、「第2回食の安全・安心審議会委員意見（資料1）」「第4次やまなし食育推進計画の概要（資料2）」について説明。

○質疑は以下の通り。

（委員）

目標指標の、朝食を「食べない」「食べない日が多い」児童生徒の割合を現状4.8から4.6を目標と

しているが、この0.2%の数的根拠は何ですか。

(事務局)

この目標値は保健体育課で出している数字であり、目標の数字的根拠につきましては、現在確認中です。確認できた時点で、改めてお知らせしたいと思います。

(委員)

この目標指標と第2章の「食を取り巻く状況」について見てみると、表現の仕方が違います。食べない人を減らすのか、食べる人を増やすのか結果は一緒ですが、マイナスの言葉をあまり使わない方がよい気がします。

(事務局)

計画概要第2章の”朝食を食べる”という表現ですが、修正ミスでして計画の本体の方も目標に合わせて”食べない”という書き方で載せていますので、こちらは修正させていただきます。

(議長)

第2章の「朝食を毎日食べる子供の割合低下」という箇所に修正が入ると言うことですね。

(事務局)

はい。目標指標と合わせて、「朝食を食べない生徒の割合」という形で直したいと思います。その下の、「週5日以上朝食をたべる若者の割合の低下」も同じように直したいと思います。

(委員)

意見としては、その逆の表現の方がいいなと思っています。以上です。

(委員)

食品ロスの件ですが、現在ですと、家庭・事業者・市町村はバラバラになっていますので、“県民運動”とするのであれば、推進協議会か何か県の組織を作って、各部門に移して推進していったらどうかと思います。

(事務局)

はい、ご意見ありがとうございます。市町村ですとか、関係団体の方を含めた会議の方は、今後構築をしていって、それから統一的な考えや、推進して欲しいことを伝えていけるような取り組みをしていきたいと思っています。こちらの概要には出てこないのですが、計画はしておりますのでご理解いただければと思います。

(委員)

せっかく活動するので、もう少し啓発や推進ができれば良いなと思います。私たちは、事業者の人と直接お話する機会はほとんどありませんので、そういう会議により、そこからのアクションがあれば、推進しやすいのではないかなと思います。お考えいただきたいです。

(委員)

資料2について質問させていただきます。右側の方に重点施策がございまして、4番で“新しい生活様式”という表現がございまして、この表現が余りにも抽象的で、人によってとらえ方が様々になってきてしまうと思います。この部分が、もう少し具体的に分かりやすく表現をしていただくようにご検討いただくとありがたいなと思っております。

それから基本方針「2 食による地域の魅力発信」につきまして、郷土食について触れられておまして大変ありがたく思っております。山梨には本当に素晴らしい郷土食もございまして。昨年、県で郷土食のファイルを作ってくださいました。計画概要の表現を見ますと「郷土食等「やまなしの食」のデータベース化」とございまして、余りにも抽象的でよく分かりにくい。ホームページに掲載されるのかなという判断も出来ますけれども、以前お作りいただきましたファイルやプリントアウトしたものを今回も作っていただけるかどうか、もしお分かりでしたらお答えいただきたいです。以上です。

(事務局)

“新しい生活様式”という表現につきましては、新型コロナウイルスの関係で想定していたのですが、分かりづらいということですので、検討させていただきたいと思います。

(事務局)

郷土食について、ファイルというのは食育推進全国大会の時に作成し、お配りしたものをお読みいただいたということですね。ありがとうございます。おっしゃるとおり「データベース化」という表現は、ホームページを念頭に置いたものになります。こういった発信もデータの方が効率的ではないかという意見もあるのですが、紙での作成等も検討させていただきながら、根底としてはホームページの方をメインにさせていただければと思っています。そこは検討ということでお願いできればと思います。

(議長)

他、いかがでしょうか。委員どうぞ。

(委員)

いろいろご検討くださりましてありがとうございます。ちょっと違和感を持っている箇所が、第3章の「1 あらゆる場面での食育の推進」のところの「学校、保育所等における食育の推進」というところです。「学校給食の充実」「食に関する指導」について、本文の方もかなり食に関する指導のことがたくさん載っております。それに対して「学校給食における地場産物の使用割合」が、目標指標という事が私の中ではすごく違和感があります。食育の推進を考えると、地場産物を金額ベースで使えば良いということではなく、食の指導を行ったこと自体が目標指標に入る事が本来ではないかなと思います。

国の第4次食育基本計画の中でも、「地場産物を活用した食に関する指導の平均取組回数」というものを上げています。食の指導に関する指標は、そちらのほうが本当は良いと思うのでご検討いただきたいと思います。

(事務局)

こちらにつきましては、今、保健体育課に、給食の方の目標値も検討していただいています。その数値が取れるかどうかもありますが、そういったご意見があったことをお知らせして、検討していきたいと思います。

○事務局から「第4次やまなし食育推進基本計画（素案）」について説明。

○質疑は以下の通り

(委員)

大変素晴らしい素案を作っていただきましてありがとうございます。今まで私たちが論議させていただいた事項が十分含まれており感謝しております。例えば15ページの、グラフ横に数値が書いており非常に分かりやすく感謝申し上げます。そこでお願いしたい事が、8ページの図表9にいろんな数値が書いていますが、非常にわかりにくいです。例えばガンは何%、老衰は何%のように数値を入れていただくと左の表と対比しながら拝見できてありがたいなと思っています。もう一点は、19ページの「シ フードバンク、フードドライブ活動への参加」についても参加したことがないという数値が、91.7%だと思うのですが、文章の横に数値を入れていただくと分かりやすいのかなと思います。そうすることで、県民、特に高齢者は納得しやすいと思います。以上です。

(議長)

また事務局で検討していただければと思います。
他、なにか感想等ありますか。

(委員)

9ページの下から4段目に「フレイル(虚弱)」と書いていますが、フレイルは知らない方もたくさんいるかと思うので、下の方に注釈でフレイルについての説明を入れていただければいいなと思います。

(議長)

委員いかがでしょう。

(委員)

4ページ「(2)食生活の状況」の「朝食を「毎日食べない」子どもの割合」の表現についてですが、「毎日食べない」なのか、それとも厳密に「毎日食べない」なのか、二つ意味があると思います。どちら

なのか一つの意味になるように表現を変えた方がいいと思います。

(議長)

これは「毎日食べない」という表現で良いですかね。

(事務局)

はい。「毎日食べない」という、言葉のままの意味です。

(議長)

1週間で言うと7日のうち6日食べると「毎日食べていない」になるということですね。

(事務局)

答える人の主観にはなりますが、そういう意味になってくると思います。

(議長)

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

(委員)

この資料はどこへ配るのですか。

(議長)

とても良い質問ですね。

(事務局)

想定しているのは市町村や食育推進協議会がありますので、そちらの団体の方たち、他関係する団体です。

(委員)

各市町村でこれを指標に、動かれるということですか？そういう強制能力はあるのですか？

(事務局)

強制能力はないですが、それぞれの市町村で国や県の計画を参考にしながら、独自の食育推進計画を作っています。

(委員)

県民にはどのような形で公表されるのですか。

(事務局)

県民の方へは、1月にパブリックコメントという形で情報を出させていただいて、策定した時にホームページにアップをさせていただき、記者投げ込み等をして公表はしていきます。

(委員)

実は会社に、新聞で大きく出ていた記事、雇用調整助成金についてなどを貼ってあります。例えば「3密を避けましょう」とかですね。そのような広告ってすごく分かりやすいです。しかし、私にとってこの計画はすごく難しい。もっとわかりやすい言葉で県民に伝えるような広告を考えていただくと嬉しいです。これは専門家から見ればわかると思います。ただ、私ども一般市民が見たときに、本当にこんなことできるの？何この数字？と思うのではなくて、「県はここを目指しているんだ」ということを伝えれば、すごく理解しやすいと思います。以上です。

(議長)

とても大切なことだと思います。ご検討いただく事がありましたら、よろしくお願いします。

(委員)

いろんな分野のところをひとつにわかりやすくまとめられていて非常にわかりやすいと思います。ただ委員が言われたような形で、子供から大人の世代まで幅広い人たちがいるので、わかりやすい目標があった上でこういった詳細があると良いのかなと思います。うちの農場でもいろんな取り組みしている中で、「オーガニックの卵を推進していく」「有機農業を広げていく」というように、二つ分かりやすく柱を掲げていますので、何かそういう目標的なものが掲げられた上で、こういった取組を行うことは非常に有効かと思えます。

(委員)

先ほど委員が言った事に関連しますが、40ページの「食に関する情報の提供」についてですが、ホームページに掲載しても、伝わる手段がないと思います。果たしてホームページをいろんな県民が見るかという、かなり厳しいと思います。それなら、スマホのアプリみたいな物があるとか、あるいはここにいらっしゃる企業様からリンクを貼るとかそういう事を考えていらっしゃるでしょうか。

(事務局)

先ほどからおっしゃられている、県民に伝わるすべが少ないという事と、一般の方が見ても内容が理解できないと言うことは、確かにおっしゃるとおりだと思います。今後になりますけれども、皆さんにご協力いただきながら取り組んでいけたらと思います。ご意見ありがとうございます。

(議長)

私が所属している栄養士会でも以前は食育計画へのリンクづけをしていたのですが、少し前にリニューアルをした関係でリンクを削除されていました。またリンクを貼っていただくようお願いいたします。

委員からたくさんのご意見やご要望をいただき、内容について、事務局からご協議いただいた後ですが、今後の修正等については、私に一任させていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

(一同)

了承

(議長)

計画を定め、事務局より来月にパブリックコメントにかける予定と聞いておりましたので、あわせてご了承いただきたいと思います。本日の議事につきましては以上ですが、さらに今までの事、これからのお話も踏まえて何かご意見がありましたらお願い致します。

県民の皆さんに計画を広く周知していただくということもとても大切なことで、それには分かりやすく伝えなければならないと思います。まず我々自身も、県だけをお願いするのではなくて、我々の組織や企業等に広めていくことで、県民の皆さんに周知できるということではないかと思います。ぜひまたご協力いただければと思います。

(2)その他

○事務局から「今後のスケジュールについて」説明

(議長)

よろしいでしょうか。以上におきまして、議事を終了したいと思います。皆さんのご協力に感謝いたします。

4 その他

5 閉会